

— 拡大教科書等に関する資料 —

- 1 拡大教科書について P 1
- 2 受領報告・需要数報告の依頼・報告の時期 P 4
- 3 拡大教科書等 報告方法
【受領報告】 【需要数報告】 【需要数変更】 P 5
- 4 説明資料
「拡大教科書等の受領報告と需要数報告について」 P 8
- 5 参考
「教科用特定図書等の普及促進について」 P 33
～音声教材について～

拡大教科書について

【概要】

「拡大教科書」とは、文部科学省の検定を経た教科書の文字や図形を拡大して複製したもので、弱視の児童生徒が使用する教科書です。この「拡大教科書」は、小中学校の通常学級や特別支援学級、特別支援学校において無償給与されています。現在、拡大教科書の無償給与の対象となるのは、国・公・私立の義務教育諸学校に在籍する弱視の児童生徒です。また、給与する拡大教科書については、給与対象者が在籍する学校において使用する教科書を原本として作成されたものとなります。

拡大教科書の給与対象となる児童生徒が学校に在籍している場合には、各市町村教育委員会へ需要報告の書類を提出してください。

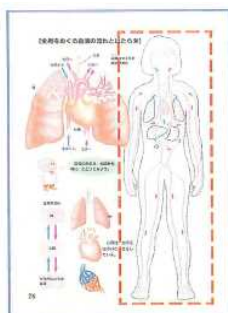
(弱視等の視覚障害のある児童生徒の学習に関する相談について)

弱視等の視覚障害のある児童生徒の見え方は多様で、個人差があります。このため、弱視等の児童生徒に適した教科書を選ぶ際には、その児童生徒の好みの文字の大きさや視力、視野の状態だけでなく、読書効率やルーペ等の補助具の利用の可能性などを総合的に判断することが必要となります。

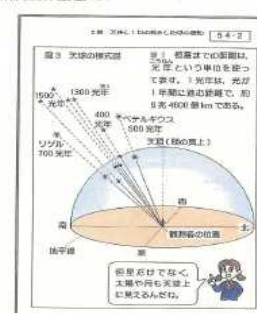
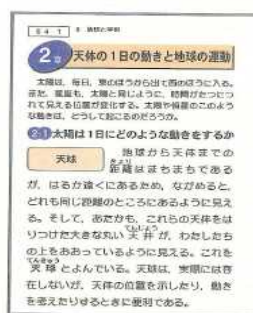
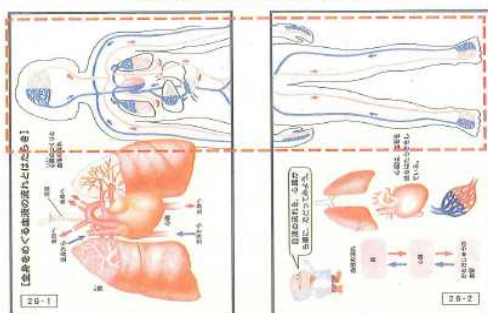
そのため、拡大教科書の給与を検討する場合には、弱視教育の専門機関や特別支援学校（視覚障害）に相談することをおすすめします。

(参考) 拡大教科書のイメージ：上が原本となる教科書。下が対応した拡大教科書。

教科書



拡大教科書



出典 『「拡大教科書」作成マニュアル』(平成 17 年 1 月 21 日発行、独立行政法人国立特別支援教育総合研究所) より一部引用

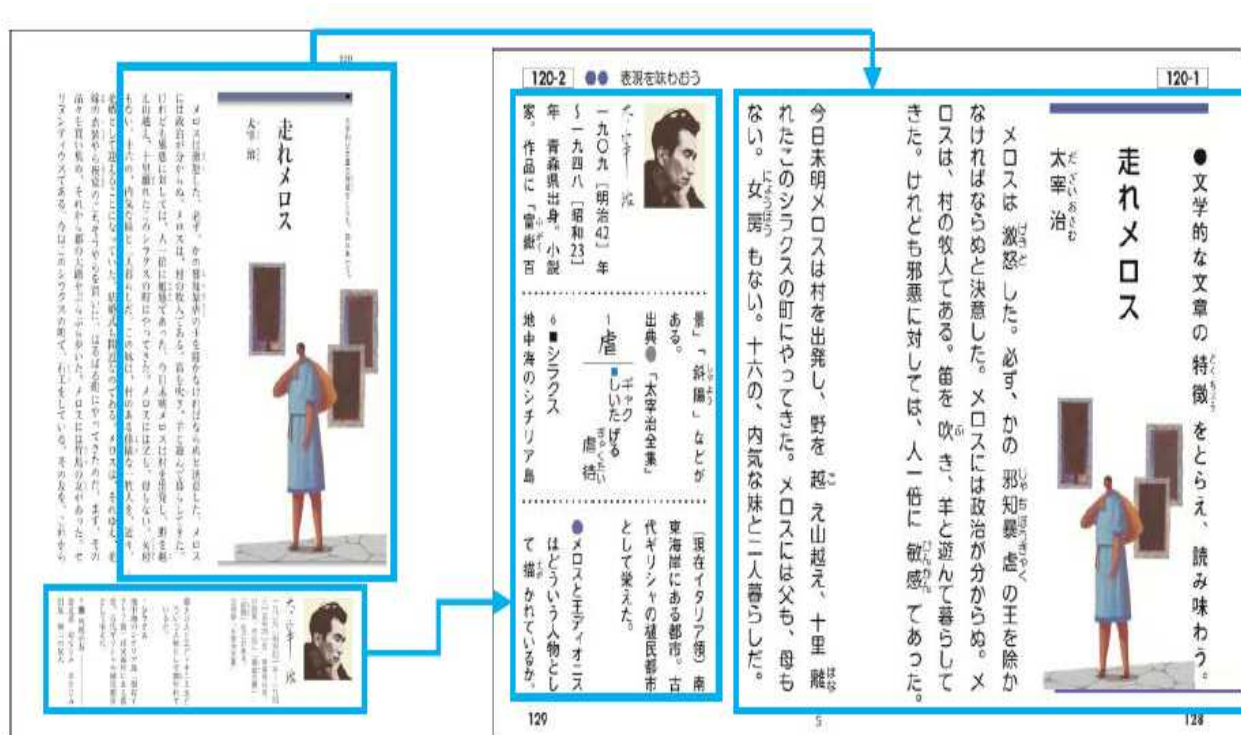
【教科書発行者等が発行する拡大教科書の特徴】

平成 20 年に公布された「障害のある児童及び生徒のための教科用特定図書等の普及の促進等に関する法律」においては、教科書発行者に対して、弱視の児童生徒のニーズに対応した標準的な規格に基づく拡大教科書を発行する努力義務を規定しています。そのため、教科書発行者は拡大教科書の発行点数を順次増やしており、平成 28 年度は、小学校及び中学校のほぼすべての教科書に対応する拡大教科書が発行されています。

(教科書発行者が発行する拡大教科書について)

教科書発行者が発行する拡大教科書のサイズ、分冊数、字体(フォント)、文字サイズなどの詳細は、文部科学省ホームページ(http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kyoukasho/kakudai/1256604.htm)に掲載しています。なお、各教科書発行者の協力を得て、各教科書発行者のホームページにも拡大教科書のサンプルが掲載されていますので、併せて参照ください。

1



2



メロス(原本にポイント明朝体)
メロス(18ポイントゴシック体)
メロス(22ポイントゴシック体)
メロス(26ポイントゴシック体)

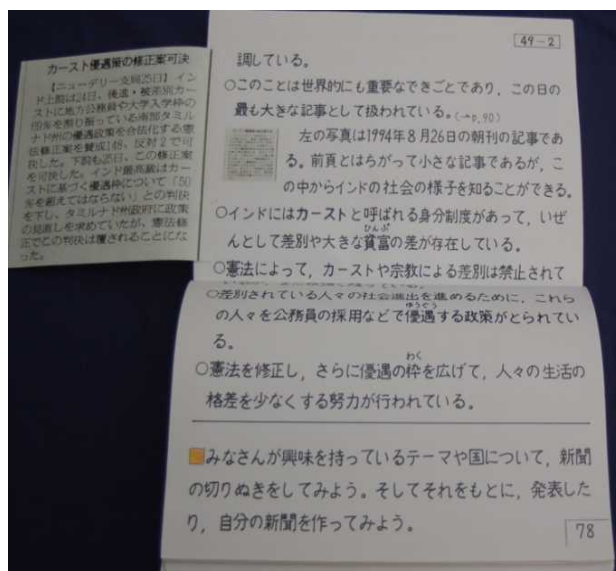
- 1 原本教科書と拡大教科書の紙面の例(東京書籍『新編新しい国語2』中学校用)。拡大教科書は、教科書を単に拡大するのでは判型が大きくなりすぎて使いにくいとため、適切な大きさの紙面に収まるようにレイアウトをやり直します。その結果、ページ数が増え、1冊の教科書が数冊の分冊になることもあります。また、ページ番号の表記が原本となる検定教科書との対応関係がわかるよう、ページ数にハイフンでつないで、拡大教科書での連番数を追記しています。
- 2 文字サイズ別の拡大教科書。この教科書の例では、原本教科書1点に対して3種類の文字の大きさの版を製作しており、それぞれ4分冊になるため、合計12種類の拡大教科書を製造しています。

【ボランティア団体等が発行する拡大教科書の特徴】

弱視等の児童生徒の見え方は多様で、同じ視力であっても視野や色覚などの視機能は一人一人異なっています。そのため、教科書発行者が発行する拡大教科書では対応できない弱視等の児童生徒に対しては、ボランティア団体等が個別に作成する拡大教科書が必要となります。

ボランティア団体等が作成する拡大教科書は、実際に拡大教科書を利用する児童生徒が希望する条件に合わせるため、様々な工夫がされています。

1



2



- 1 ボランティア団体が発行する様々な拡大教科書。表紙には分冊番号が記載されています。また、拡大教科書の製作には様々な工夫がされています。この写真の拡大教科書では、紙面不足を補足するために、貼り出しを施し、見やすさを維持しています。
- 2 弱視等の視覚障害のある児童生徒の見え方は多様で個人差があるため、例えば、眼の光を調節することができない場合、光がまぶしく感じられることがあります。こうした症状の弱視等の児童生徒にとっては、光のまぶしさにより文字を読むことが難しくなります。この写真の拡大教科書では、光のまぶしさを軽減するため、白黒反転（紙の白地の部分を、黒塗りに、文字の部分を白抜きにしたもの）を施し、見やすくしています。

拡大教科書等 受領報告・需要数報告の依頼・報告の時期

	受領	(次年度) 需要数
4	→受領報告依頼【前期：4/1～4/15受領分】 ←受領報告【前期】	
5		
6	教科書事務担当学会議	
7	→受領報告依頼【前期転学：4/1～8/31受領分（前期用は除く）】 【後期：9/1～9/15受領分】	→需要数報告依頼
8		←教科書発行者製作 需要数報告
9	←受領報告【前期転学・後期】	
10		←ボランティア団体製作 需要数報告
11		
12		
1		→需要数変更報告依頼（「需要数報告の変更手続きについて」）
2	→受領報告依頼【後期転学：9/1～2/28受領分（後期用は除く）】	←需要数変更報告 ※C期（教科書発行者）、Ⅱ期（ボランティア団体）以降の拡大教科書の需要数変更には、理由書の提出が必要。
3	←受領報告【後期転学】	

- 新規需要及び需要数の変更が生じたときには、必ず県担当者に相談し、需要数報告（変更）までの手続きについて確認してください。
- 需要数報告をただけでは、教科書は納入されません。納入指示書を必ず送付してください。
 ※【教科書発行者等製作→取次書店】【ボランティア団体製作→ボランティア団体】
- 受領報告の入力間違いが多くあります。教科書名、学年、ポイント数等について、需要数報告との整合を確認した上で、正確に報告してください。
- 報告は紙媒体と電子データになります。電子データの送付の際は、担当者名・所属・直通電話番号・メールアドレスを明記してください。

拡大教科書等 【受領報告】

		教科書発行者等製作		ボランティア団体製作	
通常学級	提出先及び提出様式	【千葉県教育委員会】 別紙様式 3-1 (報告書) 3-2 (明細表) ※通常学級 教科書発行者等用	【取次書店】 別紙様式 4-1 (証明書) 4-2 (明細表) 4-3 (納入指示書) ※通常学級 教科書発行者等用	【千葉県教育委員会】 別紙様式 3-1 (報告書) 3-2 (明細表) ※通常学級 ボランティア用	【ボランティア団体】 別紙様式 4-1 (証明書) 4-2 (明細表) 4-3 (納入指示書) ※通常学級 ボランティア用
	書名の入力	①【図書マスタ】シートをもとに、「発行者名」を選択し「管理番号」を入力する。 ②入力内容に対応して書名が自動表示される。 ※分冊ごとの入力はいらない。ポイント数の間違いがないか確認する。		①【ボランティア一覧】シートをもとに、ボランティア名を入力する。 ②拡大・点字の別を選択し、【ボランティア図書マスタ】シートをもとに、「管理番号」を入力する。 ③「分冊番号」を入力する。 ※分冊ごとの入力が必要。必ずしも分冊1から順に供給されるとは限らないので注意する。	
特別支援学校・特別支援学級	提出先及び提出様式	【千葉県教育委員会】 別紙様式 15 (明細表) ※特別支援学校・学級 教科書発行者等用	【取次書店】 別紙様式 13 (明細表) 3 (納入指示書) ※特別支援学校・学級 教科書発行者等用	【千葉県教育委員会】 別紙様式 15 (明細表) ※特別支援学校・学級 ボランティア用	【ボランティア団体】 別紙様式 13 (明細表) 3 (納入指示書) ※特別支援学校・学級 ボランティア用
	書名の入力	①【図書マスタ】シートをもとに、「発行者名」を選択し「管理番号」または「通し番号」を入力する。 ②入力内容に対応して書名が自動表示される。 ※分冊ごとの入力はいらない。ポイント数の間違いがないか確認する。		①【ボランティア一覧】シートをもとに、ボランティア名を入力する。 ②拡大・点字の別を選択し、【ボランティア図書マスタ】シートをもとに、「管理番号」を入力する。 ③「分冊番号」を入力する。 ※分冊ごとの入力が必要。必ずしも分冊1から順に供給されるとは限らないので注意する。	

※ 県教委への提出は紙媒体及び電子データとし、紙媒体はいわゆる通常の教科書の報告書類と同封して構いません。紙媒体の場合、様式3-1など公印が必要な書類は忘れずに。なお、各種様式の電子データは、千葉県学校教育情報ネットワークのHP（義務教育指導室）からダウンロードしてください。

※ 電子データはメール添付にて送付してください。メールの件名は「所属番号（半角）〇〇市（町村、学校名） 〇期（〇期転学）」とし、ファイル名は様式の先頭に「所属番号（半角）〇〇市（町村、学校） 〇期（〇期転学）」を付けてください。

(例) 件名「003習志野市 前期」 ファイル名「003習志野市 前期 別紙様式3-1、3-2（通常学級 教科書発行者等用）.xls」
件名「303千葉盲 前期転学」 ファイル名「303千葉盲 前期転学 様式15（特別支援学校・学級 教科書発行者等用）.xls」

拡大教科書等 【需要数報告】

		教科書発行者等製作	ボランティア団体製作
通常学級	提出先式・提出様式	【千葉県教育委員会】 需要票 別紙様式 1－1	【千葉県教育委員会】 需要票 別紙様式 1－2
	書名の入力	①様式1－1ファイル内の【図書名リスト】シートをもとに「発行者番号」「管理番号」を入力する。 ②入力した数値に対応して、書名等が自動で表示される。 ※書名欄に【全〇分冊】と表示されるので、分冊ごとの入力は必要ない。	①様式1－2ファイル内の【ボランティア一覧】、【ボランティア図書マスタ】シートをもとに「ボランティア番号」「発行者番号」「管理番号」「分冊番号」等を入力する。 ②入力した数値に対応して、書名等が自動で表示される。 ※分冊ごとの入力が必要となる。（入力した「分冊番号」によって、書名の末尾に分冊番号が自動表示される。） ③文字ポイント数や単価等を入力する。
特別支援学校・特別支援学級	提出先式・提出様式	【千葉県教育委員会】 需要票 別紙様式 3－1	【千葉県教育委員会】 需要票 別紙様式 3－2
	書名の入力	①様式3－1ファイル内の【図書名リスト】シートをもとに「発行者番号」「管理番号」を入力する。 ②入力した数値に対応して、書名等が自動で表示される。 ※書名欄に【全〇分冊】と表示されるので、分冊ごとの入力は必要ない。	①様式3－2ファイル内の【ボランティア一覧】、【ボランティア図書マスタ】シートをもとに「ボランティア番号」「発行者番号」「管理番号」「分冊番号」等を入力する。 ②入力した数値に対応して、書名等が自動で表示される。 ※分冊ごとの入力が必要となる。（入力した「分冊番号」によって、書名の末尾に分冊番号が自動表示される。） ③文字ポイント数や単価等を入力する。

※ 【需要数変更】（追加・削除・内容変更）は、様式が異なります。1月に県から報告を依頼し、2月に報告することになるので、教育相談を行い、必要となる教科書の選定をしておいてください。県担当者への連絡も忘れずにお願いします。

※ 旧版と新版の誤りに留意してください。

※ このほか、教員用の需要票 別紙様式5－1もあります。

拡大教科書等 【令和3年度用需要数変更】（参考）

		教科書発行者等製作	ボランティア団体製作
通常学級	提出先及び提出様式	【千葉県教育委員会】 A期：令和3年2月2日まで 別紙様式2-1 B期：令和3年2月22日まで 別紙様式2-1 C期：令和3年3月26日まで 別紙様式6-1+理由書 D期：令和3年4月9日まで 別紙様式6-1+理由書 E期：令和3年4月10日以降 別紙様式6-1+理由書 ※別紙は「需要集計一覧表」	【千葉県教育委員会】 I期：令和3年2月20日まで 別紙様式2-2 II期：令和3年4月9日まで 別紙様式6-2+理由書 III期：令和3年4月10日以降 別紙様式6-2+理由書 ※別紙は「需要集計一覧表」
	書名の入力	①様式2-1（又は6-1）ファイル内の【図書名リスト】シートをもとに「発行者番号」「管理番号」を入力する。 ②入力した数値に対応して、書名等が自動で表示される。 ※書名欄に【全〇分冊】と表示されるので、分冊ごとの入力は必要ない。	①様式2-2（又は6-2）ファイル内の【ボランティア一覧】、【ボランティア図書マスタ】シートをもとに「ボランティア番号」「発行者番号」「管理番号」「分冊番号」等を入力する。 ②入力した数値に対応して、書名等が自動で表示される。 ※分冊ごとの入力が必要となる。（入力した「分冊番号」によって、書名の末尾に分冊番号が自動表示される。） ③文字ポイント数や単価等を入力する。
特別支援学校・特別支援学級	提出先及び提出様式	【千葉県教育委員会】 A期：令和3年2月2日まで 別紙様式4-1 B期：令和3年2月22日まで 別紙様式4-1 C期：令和3年3月26日まで 別紙様式7-1+理由書 D期：令和3年4月9日まで 別紙様式7-1+理由書 E期：令和3年4月10日以降 別紙様式7-1+理由書 ※別紙は「需要集計一覧表」	【千葉県教育委員会】 I期：令和3年2月20日まで 別紙様式4-2 II期：令和3年4月9日まで 別紙様式7-2+理由書 III期：令和3年4月10日以降 別紙様式7-2+理由書 ※別紙は「需要集計一覧表」
	書名の入力	①様式4-1（又は7-1）ファイル内の【図書名リスト】シートをもとに「発行者番号」「管理番号」を入力する。 ②入力した数値に対応して、書名等が自動で表示される。 ※書名欄に【全〇分冊】と表示されるので、分冊ごとの入力は必要ない。	①様式4-2（又は7-2）ファイル内の【ボランティア一覧】、【ボランティア図書マスタ】シートをもとに「ボランティア番号」「発行者番号」「管理番号」「分冊番号」等を入力する。 ②入力した数値に対応して、書名等が自動で表示される。 ※分冊ごとの入力が必要となる。（入力した「分冊番号」によって、書名の末尾に分冊番号が自動表示される。） ③文字ポイント数や単価等を入力する。

※ 別紙様式6-1、6-2、7-1、7-2の電子データは、1月に各担当宛て送付したメールに添付の「共通送付」のフォルダ内にありますので、必要に応じて利用してください。

※ 理由書は、公文書として提出していただきます。

教科書採択及び無償給与事務担当者会議

拡大教科書等の 受領報告と需要数報告について

千葉県教育庁教育振興部学習指導課

指導主事 溝口 真

給与対象者

1. 視覚障害の程度が学校教育法施行令第22条の3に規定する「**視覚障害者**」
2. 「障害のある児童生徒の就学について」（平成14年5月27日付 14文科初第301号文部科学省初等中等教育局長通知）に定める「**弱視者**」に相当する児童生徒
3. **2に準ずる程度の視覚に障害のある児童生徒**のうち、他の児童生徒に比べて通常の検定教科用図書の文字、図形等の視覚による認識に相当程度の時間を要する等学習に困難を来たす者であって、拡大教科書又は点字教科書を使用することが教育上適当であると所管の教育委員会（国立学校及び私立学校にあつては学校長。以下「教育委員会等」という。）が認める者

受領報告

- 3月 【前期】 報告依頼
- 4月 【前期】 受領報告

- 7月 【前期転学】 【後期】 報告依頼
- 9月 【前期転学】 【後期】 受領報告

- 1月 【後期転学】 報告依頼
- 3月 【後期転学】 受領報告

受領報告

拡大教科書等 【受領報告】

		教科書発行者等製作		ボランティア団体製作	
通常学級	提出先及び提出様式	【千葉県教育委員会】 別紙様式 3 - 1 (報告書) 3 - 2 (明細表) ※通常学級 教科書発行者等用	【取次書店】 別紙様式 4 - 1 (証明書) 4 - 2 (明細表) 4 - 3 (納入指示書) ※通常学級 教科書発行者等用	【千葉県教育委員会】 別紙様式 3 - 1 (報告書) 3 - 2 (明細表) ※通常学級 ボランティア用	【ボランティア団体】 別紙様式 4 - 1 (証明書) 4 - 2 (明細表) 4 - 3 (納入指示書) ※通常学級 ボランティア用
	書名の入力	①【図書マスタ】シートをもとに、「発行者名」を選択し「管理番号」を入力する。 ②入力内容に対応して書名が自動表示される。 ※分冊ごとの入力はいらない。ポイント数の間違いがないか確認する。		①【ボランティア一覧】シートをもとに、ボランティア名を入力する。 ②拡大・点字の別を選択し、【ボランティア図書マスタ】シートをもとに、「管理番号」を入力する。 ③「分冊番号」を入力する。 ※分冊ごとの入力が必要。必ずしも分冊1から順に供給されるとは限らないので注意する。	
特別支援学校・特別支援学級	提出先及び提出様式	【千葉県教育委員会】 別紙様式 1 5 (明細表) ※特別支援学校・学級 教科書発行者等用	【取次書店】 別紙様式 1 3 (明細表) 3 (納入指示書) ※特別支援学校・学級 教科書発行者等用	【千葉県教育委員会】 別紙様式 1 5 (明細表) ※特別支援学校・学級 ボランティア用	【ボランティア団体】 別紙様式 1 3 (明細表) 3 (納入指示書) ※特別支援学校・学級 ボランティア用
	書名の入力	①【図書マスタ】シートをもとに、「発行者名」を選択し「管理番号」または「通し番号」を入力する。 ②入力内容に対応して書名が自動表示される。 ※分冊ごとの入力はいらない。ポイント数の間違いがないか確認。		①【ボランティア一覧】シートをもとに、ボランティア名を入力する。 ②拡大・点字の別を選択し、【ボランティア図書マスタ】シートをもとに、「管理番号」を入力する。 ③「分冊番号」を入力する。 ※分冊ごとの入力が必要。必ずしも分冊1から順に供給されるとは限らないので注意する。	

受領報告

(1)教科書発行者等の製作

「教科用特定図書等」			受領 給与児童生徒数	報告書明細表	前 期 用	
				学校名	〇〇小学校	
種 目	発 行 者 名			「教科用特定図書等」の 名 称		冊 数 冊(人)
公民	【中・点】社会福祉法人 東京点字出版所		006	社会（公民）（分冊未定）		1
算数	大日本図書株式会社		007	小 新版たのしい算数2（算数233）拡大版【22P】（通常製本）（全2分冊）		2
				小 小学生のこくご 二年（国語2）【26P】（全		4

「発行者」を
ドロップダウン
リストから選択

3桁の「管理
番号」または
「通し番号」
を入力

教科書名や文字サイ
ズが自動表示

受領報告

拡大教科書等 【受領報告】

		教科書発行者等製作		ボランティア団体製作	
通常学級	提出先及び提出様式	【千葉県教育委員会】 別紙様式3-1（報告書） 3-2（明細表） ※通常学級 教科書発行者等用	【取次書店】 別紙様式4-1（証明書） 4-2（明細表） 4-3（納入指示書） ※通常学級 教科書発行者等用	【千葉県教育委員会】 別紙様式3-1（報告書） 3-2（明細表） ※通常学級 ボランティア用	【ボランティア団体】 別紙様式4-1（証明書） 4-2（明細表） 4-3（納入指示書） ※通常学級 ボランティア用
	書名の入力	①【図書マスタ】シートをもとに、「発行者名」を選択し「管理番号」または「通し番号」を入力する。 ②入力内容に対応して書名が自動表示される。 ※書名欄に【全〇分冊】と表示されるので、分冊ごとの入力が必要ない。ポイント数の間違いがないか確認する。		①【ボランティア一覧】シートをもとに、ボランティア名を入力する。 ②拡大・点字の別を選択し、【ボランティア図書マスタ】シートをもとに、「管理番号」を入力する。 ③「分冊番号」を入力する。 ※分冊ごとの入力が必要。必ずしも分冊1から順に供給されるとは限らないので注意する。	
特別支援学校・特別支援学級	提出先及び提出様式	【千葉県教育委員会】 別紙様式15（明細表） ※特別支援学校・学級 教科書発行者等用	【取次書店】 別紙様式13（明細表） 3（納入指示書） ※特別支援学校・学級 教科書発行者等用	【千葉県教育委員会】 別紙様式15（明細表） ※特別支援学校・学級 ボランティア用	【ボランティア団体】 別紙様式13（明細表） 3（納入指示書） ※特別支援学校・学級 ボランティア用
	書名の入力	①【図書マスタ】シートをもとに、「発行者名」を選択し「管理番号」または「通し番号」を入力する。 ②入力内容に対応して書名が自動表示される。 ※書名欄に【全〇分冊】と表示されるので、分冊ごとの入力が必要ない。ポイント数の間違いがないか確認。		①【ボランティア一覧】シートをもとに、ボランティア名を入力する。 ②拡大・点字の別を選択し、【ボランティア図書マスタ】シートをもとに、「管理番号」を入力する。 ③「分冊番号」を入力する。 ※分冊ごとの入力が必要。必ずしも分冊1から順に供給されるとは限らないので注意する。	

受領報告

(2) ボランティア団体の製作

「教科用特定図書等」		受領 給与児童生徒数		報告書明細表		前期		用	
種 目	発 行 者 名	学校名	〇〇学校	「教科用特定図書等」		冊 数			
		拡大・点字の 別	管理番号	分冊番号		冊(人)			
国語	拡大写本 〇〇	拡大	01	1	拡大 小 東書 国語 1上 -1	1	〇〇学校	東京書籍株式会社	000
国語	拡大写本 〇	拡大	01	2	拡大 小 東書 国語 1上 -2	1	〇〇学校	東京書籍株式会社	000
国語	拡大写本		01	3	拡大 小 東書 国語 1上 -3	1	〇〇学校	東京書籍株式会社	000
					拡大 小 東書 国語 1上 -4				000

分冊番号
を入力

ボランティア
団体名を入力

拡大・点字
の別を選択

2ケタの管理
番号を入力

教科書発行者
を選択

拡大 小 東書 国語 1上 - 1

受領報告

○留意事項

1 報告様式の間違ひはないか

→様式は毎年新しいデータに更新、学級・製作者によって4種の様式

2 データのリンクが壊れていないか

→複数の学校からの取りまとめの際には注意

3 需要数報告との一致

→原典教科書1冊に対して、文字ポイントが違う複数の拡大教科書が存在

4 ボランティア団体と分冊数が合っているか

→製作ボランティア団体と学校で、納入・受領の分冊番号は一致しているか

5 4月に下巻を給与する場合は「前期転学」扱い

→下巻は原則「後期」での給与、2年間で上下巻を扱う教科書は注意が必要

次年度需要数の報告

【報告時期】

- ・教科書発行者製作…………… 8月下旬
- ・ボランティア団体製作… 10月下旬

需要の有無→教科、文字サイズ、発行者（製作者）等の確認

【報告様式】

- 通常学級 教科書発行者… 1－1
ボランティア… 1－2
- 特別支援 教科書発行者… 3－1
ボランティア… 3－2
- 教員用（有償）…………… 5－1

※様式は「千葉県学校情報ネットワーク」HPの
「教育課程室」からダウンロード

需要数報告

拡大教科書等【需要数報告】

		市販本（教科書発行者等）	ボランティア本（ボランティア団体等）
通常学級	提出先及び提出様式	【千葉県教育委員会】 別紙様式 1-1	【千葉県教育委員会】 別紙様式 1-2
	書名の入力	①様式1-1ファイル内の【図書名リスト】シートをもとに「発行者番号」「管理番号」を入力する。 ②入力した数値に対応して、書名等が自動で表示される。 ※書名欄に【全〇分冊】と表示されるので、分冊ごとの入力は必要ない。	①様式1-2ファイル内の【ボランティア一覧】、【ボランティア図書マスタ】シートをもとに「ボランティア番号」「発行者番号」「管理番号」「分冊番号」等を入力する。 ②入力した数値に対応して、書名等が自動で表示される。 ※分冊ごとの入力が必要となる。（入力した「分冊番号」によって、書名の末尾に分冊番号が自動表示される。） ③文字ポイント数や単価等を入力する。
特別支援学校・特別支援学級	提出先及び提出様式	【千葉県教育委員会】 別紙様式 3-1	【千葉県教育委員会】 別紙様式 3-2
	書名の入力	①様式3-1ファイル内の【図書名リスト】シートをもとに「発行者番号」「管理番号」を入力する。 ②入力した数値に対応して、書名等が自動で表示される。 ※書名欄に【全〇分冊】と表示されるので、分冊ごとの入力は必要ない。	①様式3-2ファイル内の【ボランティア一覧】、【ボランティア図書マスタ】シートをもとに「ボランティア番号」「発行者番号」「管理番号」「分冊番号」等を入力する。 ②入力した数値に対応して、書名等が自動で表示される。 ※分冊ごとの入力が必要となる。（入力した「分冊番号」によって、書名の末尾に分冊番号が自動表示される。） ③文字ポイント数や単価等を入力する。

需要数報告

(1)教科書発行者等の製作

通常学級用
(教科書発行者等)

都道府県教育委員会名 →

実施機関名 →

別紙様式1-1
No. —

令和元 年度 標準教科用特定図書等需要票

(注)

1. 1行に1図書の情報を記入してください。
2. 特別支援学校や特別支援学級に在籍する児童生徒の需要数は記入しないでください。また、高等学校の需要数は含めないでください。
3. その他特記事項の欄には、製本方法(通常・リング)や拡大のタイプ等その他特に記載する事項がありましたら記載してください。
4. 必要に応じて行の追加を行う場合は、別ファイルを作成してください。
5. 本様式に記載される個人情報については、適切に管理し、障害のある児童及び生徒のための教科用特定図書等の普及の促進等に関する法律に定める目的以外の用途使用しないでください。

学校名	学年	給与対象者氏名	発行者番号	管理番号	発行者名	拡大・点字の別	種目	教科書の記号・番号	教科書名	文字サイズ	注意事項	その他特記事項	連絡先	郵便番号	住所
〇〇小学校	小 1	千葉 太郎	002	001	東京書籍株式会社	拡大版	国語	国語101	小 あたらしい こくご 一上(国語101)拡大版【22P】	22P			03-5380-7343	114-0024	東京都中央区銀座1-7-1
〇〇小学校	小 2	千葉 花子	004	120	大日本図書株式会社	拡大版	生活	生活104	小 たのしい せいふつ 下 はっけん(生活104)拡大版【30P】(リング製本)(全2分冊)	30P			03-5945-0678	112-0012	東京都文京区本郷4-12-4

【図書マスタ】から
発行者番号と管理番号
を入力



教科書名や文字サイズが
自動表示

需要数報告

(2) ボランティア団体の製作

別紙様式1-2

**通常学級用
(ボランティア用)**

都道府県
教育委員会名 →

実施機関名 →

No. →

令和元 年度 標準教科用特定図書等需要票

(注) 1. 作成の際、必ず発行者に供給可能であることを確認し、連絡先を記入してください。
 2. 1行に1図書の情報を記入してください。
 3. 「小学校用・中学校用教科書の分冊、別冊の給与形態について」を参照の上、注意事項に表示された内容に関して、需要数報告漏れや依頼漏れ等がないようご注意ください。
 4. 必要に応じて行の追加を行う場合は、別ファイルを作成してください。
 5. 分冊番号の欄には、拡大教科書等の分冊番号を1行ずつ記入してください。また、1分冊の場合であっても、分冊番号は記入してください。
 6. 報告の時点で分冊数が未定であっても、必ず予定分冊数分の分冊番号を記入してください。単価についても予定単価を必ず記入してください。
 (文部科学省とボランティア団体等との間において拡大教科書等の購入契約を締結した後に、契約単価を変更することは原則としてできませんので、ご注意ください。)
 7. 特別支援学校や特別支援学級に在籍する児童生徒の需要数は記入しないください。また、高等学校の需要数は含めないください。
 8. 本様式に記載される個人情報については、適切に管理し、障害のある児童及び生徒のための教科用特定図書等の普及の促進等に関する法律に定める目的以外の用途には使用しないでください。

学校名	学年	教科対象等 区分	ボランティア 番号	ボランティア名	発行 年次	原典教科書の 発行番号	拡大 タイプ	冊数 部数	分冊 番号	原典とされる図書名	図書事項	文字サイズ		単 価 円	その他 特記事項	送達方法名	郵便番号	住所	連絡先	
												サイズ	部位							
〇〇小学校	小	1	千葉 太郎	51	特許拡大標準ナール	002	東京書籍株式会社	拡大	01	1	拡大 小 漢字 国語 1上 - 1		24	F	3,200	白黒印刷	郵便 函之	277-0005	千葉県市川市260-1 小 1分冊603	04-7132-4538
〇〇小学校	小	1	千葉 太郎	51	特許拡大標準ナール	002	東京書籍株式会社	拡大	01	2	拡大 小 漢字 国語 1上 - 2		24	F	3,200	白黒印刷	郵便 函之	277-0005	千葉県市川市260-1 小 1分冊603	04-7132-4538

【ボランティア一覧】からボランティア番号、【図書マスタ】から発行者番号と管理番号、分冊番号（何分冊目か）を入力



ボランティア団体名や教科書名が自動表示



文字サイズや価格等を入力

需要数報告

○県内拡大教科書ボランティア団体

- 浦安拡大写本るーぺ
- 柏市拡大写本サークル
- 手作り拡大写本かたつむりの会
- 四街道拡大写本の会

◎個々の見えにくさに対応した拡大教科書の作成

- ・教科書サイズ ・文字ポイント ・白黒反転
- ・製本方法 ・レイアウト変更 等

※ボランティア団体からの問合せの際は、
教科書作成に必要な情報の提供を

需要数の変更

8月・10月の報告後…

例えば

- ・視力の低下・回復
- ・転出入、進学先の変更
- ・就学時健康診断の結果から
→拡大教科書が必要（不要）になった。
使用する拡大教科書を変更したい。

⇒需要の追加・削除、内容の変更の手続き

需要数の変更（教科書発行者等製作）

【令和3年度使用の場合】

	報告期限（文科省）	報告様式
A期	令和3年2月2日まで	通 教：2－1 特 教：4－1
B期	令和3年2月22日まで	通 教：2－1 特 教：4－1
C期	令和3年3月26日まで	通 教：6－1 ※理由書 特 教：7－1 ※理由書
D期	令和3年4月9日まで	通 教：6－1 ※理由書 特 教：7－1 ※理由書
E期	令和3年4月10日以降	通 教：6－1 ※理由書 特 教：7－1 ※理由書

※報告様式はA期の報告依頼時にメール送付

需要数の変更(ボランティア団体等製作)

【令和3年度使用の場合】

	報告期限 (文科省)	報告様式
I 期	令和3年2月 20日まで	通 教：2－2 特 教：4－2
II 期	令和3年4月9日まで	通 教：6－2 ※理由書 特 教：7－2 ※理由書
III 期	令和3年4月10日以降	通 教：6－2 ※理由書 特 教：7－2 ※理由書

※報告様式はA期(教科書発行者用)の報告依頼時に
メール送付

需要数報告での留意事項

- 1 報告時期や在籍学級（学校）、使用する教科書によって様式が異なる
→日頃から児童・生徒の状況把握を
- 2 事前の実物確認は難しい
→発行者HPでの確認・直接の問合せ
教育庁学習指導課・特別支援教育課にサンプル
- 3 ボランティア団体へは製作可能か事前確認を
→他団体の紹介がある場合も
- 4 納入指示書の送付を忘れない
→需要数報告だけでは教科書は届かない

報告方法

◎【報告依頼】

教科書無償給与担当者から一括

◎【受領報告・需要数報告】

拡大教科書担当者へ（紙・電子データ）

➤ 電子データ送付の際は、所属・担当者名・直通電話番号・メールアドレスを明記してください。

需要数報告Q & A①

1 1月に保護者から「次年度から拡大教科書を使用したい。」との申し出がありました。本市では今年度、拡大教科書の需要がなかったので報告をしていませんでしたが、新たに報告すればよいのでしょうか。

- 8月（教科書発行者）、10月（ボランティア）の報告後
⇒「需要数変更報告」1月末に県から依頼
2月上旬の報告（A期）
※変更時期によって様式が異なるので注意

※2月下旬以降、新年度に入ってから変更
「C期・D期・E期」変更（教科書発行者）
「Ⅱ期・Ⅲ期」変更（ボランティア）
⇒理由書添付等 丁寧な対応が必要

◎急な変更が生じないよう、日頃から情報収集を！

需要数報告Q & A②

小学校4年生から新たに拡大教科書を使用します。社会や図工は3・4年生で上下巻を使用するため、すでに下巻を受け取っています。この場合、3・4年下の拡大教科書は需要数として報告してはいけないのでしょうか。

○需要数として報告してよい

⇒通常の教科書を受領済みであっても、その後に拡大教科書が必要となった場合は二重給与の対象外

※拡大教科書を受領後に通常の教科書の給与は不可

◎拡大教科書の使用にあたっては、障害の状況等から十分に検討し決定を！

需要数報告Q & A③

1人1台端末を使用し、教科書を画面上で拡大する等して学習したいのですが、デジタルデータでの教科書給与はできるのでしょうか。

○デジタル教科書は無償給与の対象ではない

- ・別途、購入が必要

令和3年度は実証事業を実施している

- ・マルチメディアディジー教科書（音声教材）

⇒視覚障害者や普通の印刷物を読むことが困難な人々
のためにカセットに代わるデジタル録音図書

※安易に教科書をデジタルデータ化することは著作権法に抵触するおそれがあります。

需要数報告Q & A④

特別支援学級に在籍する児童が拡大教科書を使用したいのですが、文部科学省著作教科書（いわゆる星（☆）本）の拡大版は発行されているのでしょうか。

○教科書発行者による製作はない

⇒ボランティア団体への依頼で、対応が可能か確認を

※過去に給与している例はある

◎一人一人の障害等の状況に応じて、適切な教科書の給与ができるよう配慮を！

【参考】拡大教科書等について

・文部科学省HPより

●教科書発行者等による市販拡大教科書一覧

The screenshot shows the MEXT website with the following elements:

- Header:** MEXT logo and name in Japanese and English. Navigation links for 'Text Size' (小, 中, 大) and a search bar.
- Menu:** A horizontal menu with categories: 会見・報道・お知らせ, 政策・審議会, 図書・統計・出版物, 申請・手続き, 文部科学省の紹介, 教育, 科学技術・学術, スポーツ, 文化. The '教育' (Education) category is highlighted.
- Breadcrumb:** トップ > 教育 > 小学校、中学校、高等学校 > 教科書 > 無償貸与 > 教科用特定図書等(拡大教科書、点字教科書、音声教材等)
- Main Content:**
 - 教科用特定図書等(拡大教科書、点字教科書、音声教材等)**
 - 教科書発行者等による市販拡大教科書一覧
 - [教科書発行者等による市販拡大教科書一覧](#)
 - 教科書のデジタルデータの提供について
 - [教科書のデジタルデータの提供について](#)
 - 通常学級に在籍する障害のある児童及び生徒に対する「教科用特定図書等」の無償給与について
 - [通常学級に在籍する障害のある児童及び生徒に対する「教科用特定図書等」の無償給与について](#)
 - 教科用拡大図書の標準的な規格の策定等
 - [教科用拡大図書の標準的な規格の策定等\(平成20年12月25日 文部科学大臣決定 平成22年1月15日改正\) \(PDF:232KB\)](#)
 - 「障害のある児童及び生徒のための教科用特定図書等の普及の促進等に関する法律」について
 - [障害のある児童及び生徒のための教科用特定図書等の普及の促進等に関する法律等の施行について\(通知\)](#)
 - [新旧対照表](#)

【参考】拡大教科書等について
・社団法人教科書協会HPより



拡大教科書を発行している教科書会社のHPへリンク
→拡大教科書のサンプルを見ることができる。

拡大教科書無償給与事務の問題点の改善

1 拡大教科書は高額な教科書です

- ・ 児童生徒一人一人に対し、需要数報告がなされ、発行者がそれに合わせてオンデマンド印刷されるため、高額な教科書です。

2 現状の問題点

- ・ 学校側が作成し、教科書取次店に渡す納入指示書には誤りが多い。（特約店で確認し、差替え依頼している。）
- ・ 納入指示書がなかなか提出されない学校もあります。
- ・ C期以降の需要数変更報告が多くなり、変更ができない場合もでてきている。

3 改善

- ・ 学校側は遅くとも3月20日（後期は8月）までに、教科書取次店及び設置者に対しても納入指示書を提出する。
- ・ 設置者は学校からの納入指示書が需要数通りかを確認する。（誤りや未送付などの場合は差替え・督促をする。）
- ・ 拡大教科書の需要数変更はB期までに終了する。急な転出入、突発的な事故等による需要増などは、設置者へすぐに連絡する。連絡を受けた設置者は早急に県教委に連絡する。
- ・ 小学校から中学校への引継ぎなどは早めに行い、C期以降の変更報告は最小限できるようにする。

教科用特定図書等の普及促進について

音声教材について

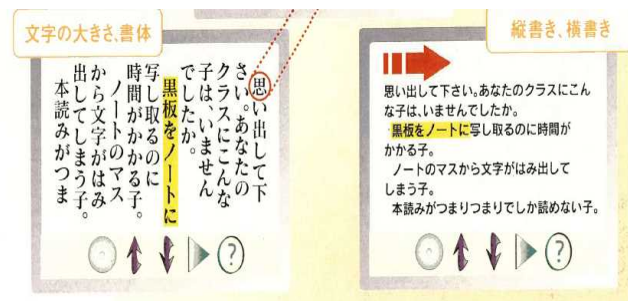
音声教材とは、発達障害等により、通常の検定教科書では一般的に使用される文字や図形等を認識することが困難な児童生徒に向けた教材で、パソコンやタブレット等の端末を活用して学習する教材です。「障害のある児童及び生徒のための教科用特定図書等の普及の促進等に関する法律」（教科書バリアフリー法）に基づき、教科書発行者から提供を受けた教科書デジタルデータを活用し、ボランティア団体等が製作しています。文部科学省から委託を受けた以下の団体が調査研究を行い、音声教材を製作し、読み書きが困難な児童生徒に無償で提供しています。

音声教材製作団体及び教材の概要

公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会

(<http://www.jsrpd.jp/>)

- 教材名：「マルチメディアデージー教科書」
- 主な特徴：音声、本文等テキスト、挿絵等の図版を含む。ハイライト機能あり。音声は肉声及び合成音声。視覚と聴覚から同時に情報が入り内容理解がしやすい。小・中学校の教科書を中心に作成。パソコンやタブレット端末にて利用可能。
- 利用者実績：約3400人（H27年度）



東京大学先端科学技術研究センター

(<http://accessreading.org/about.html>)

- 教材名：「AccessReading」
- 主な特徴：音声、本文等テキスト、挿絵等の図版を含む。ハイライト機能あり。音声は合成音声。視覚と聴覚から同時に情報が入り内容理解がしやすい。小・中・高校の教科書を対象。Word版のものとEPUB版の2種類を作成。パソコンやタブレット端末にて利用可能。
- 利用者実績：約500人（H27年度）



NPO法人エッジ

(<http://www.npo-edge.jp/>)

- 教材名：「音声教材BEAM」
- 主な特徴：音声のみの教材（テキストや挿絵等の図版はなし）。音声は合成音声。小・中学校の国語・社会を中心に作成。スマートフォン、ICレコーダー等、mp3ファイルが再生可能な機器で利用可能。データ容量が軽く、操作が簡便。
- 利用者実績：約130人（H27年度）



教科用特定図書等の普及促進について

音声教材について

音声教材とは、発達障害等により、通常の検定教科書では一般的に使用される文字や図形等を認識することが困難な児童生徒に向けた教材で、パソコンやタブレット等の端末を活用して学習する教材。「障害のある児童及び生徒のための教科用特定図書等の普及の促進等に関する法律」（教科書バリアフリー法）に基づき、教科書発行者から提供を受けた教科書デジタルデータを活用し、ボランティア団体等が製作している。文部科学省は、以下の団体に調査研究を委託しており、その成果物である音声教材を読み書きが困難な児童生徒に無償提供している。

音声教材製作団体の概要

公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会

(<http://www.dinf.ne.jp/doc/daisy/book/daisytext.html>)

- 教材名：「マルチメディアデージー教科書」
- 主な特徴：音声、本文等テキスト、挿絵等の図版を含む。ハイライト機能あり。音声は肉声及び合成音声。視覚と聴覚から同時に情報が入り内容理解がしやすい。小・中学校の教科書を中心に作成。パソコンやタブレット端末にて利用可能。
- 利用者実績：10,039人（平成30年度）

茨城大学

(<http://apricot.cis.ibaraki.ac.jp/textbook/>)

- 教材名：「ペンでタッチすると読める音声付教科書」
- 主な特徴：音声、本文等テキスト、挿絵等の図版を含む。通常の教科書と見た目はほぼ同じ。音声は肉声。小・中学校の国語を中心に作成。音声ペンをタッチして読むことで意識が紙面に向き、能動的な読書になる。鉛筆やペンでの書き込みが可能。
- 利用者実績：1,110人（平成30年度）

東京大学先端科学技術研究センター

(<http://accessreading.org/about.html>)

- 教材名：「AccessReading」
- 主な特徴：音声、本文等テキスト、挿絵等の図版を含む。ハイライト機能あり。音声は合成音声。視覚と聴覚から同時に情報が入り内容理解がしやすい。小・中・高校の教科書を対象。Word版のものとEPUB版の2種類を作成。パソコンやタブレット端末にて利用可能。
- 利用者実績：520人（平成30年度）

広島大学

(<https://home.hiroshima-u.ac.jp/ujima/>)

- 教材名：「文字・画像付き音声教材」
- 主な特徴：サイズ等の変更が可能なテキストを合成音声で読み上げる。読み方を指定しているため正確に読み上げる。単語の辞書検索も可能。音声読み上げ中、同じページ番号の原本教科書画像データに表示切り替え可能なため、授業中、授業者の指示に対応しやすい。小中学校を中心に製作。iPad、iPhoneなどのiOS機器にて利用可能
- 利用者実績：なし（令和元年度新規）

NPO法人エッジ

(<http://www.npo-edge.jp/>)

- 教材名：「音声教材BEAM」
- 主な特徴：音声のみの教材（テキストや挿絵等の図版はなし）。音声は合成音声。小・中学校の国語・社会を中心に作成。スマートフォン、ICレコーダー等、mp3ファイルが再生可能な機器で利用可能。データ容量が軽く、操作が簡便。
- 利用者実績：560人（平成30年度）

愛媛大学教育学部

- 教材名：「UNLOCK」
- 音声、本文等テキストを含む（挿絵等の図版はなし）。音声は合成音声（一部肉声）。小・中・高の教科書を対象。電子辞書等を用いて、テキスト形式（.txt）ファイルを表示、文字を読みやすい大きさに変更可能。あわせて音声を再生可能。電子辞書で調べ学習にも対応。
- 利用者実績：なし（令和元年度新規）